



児童会主催のあいさつ運動が始まります！

ここ数年、「凡事徹底」という言葉をよく目や耳にします。日常生活では、「あいさつ」「整理整頓」「掃除」など、何でもない当り前のことこそ重要なことが多く、徹底して継続することで、平凡が後に大きな結果へとつながるという意味のようです。メジャーリーグでも大活躍したイチロー選手は基礎練習や素振りなどの「小さいこと」をひたすら徹底して行ったそうです。

前置きが長くなりましたが、当たり前に行っているあいさつにはたくさんの意義があると言われ、その一つに「相手の心に近づくための大切なコミュニケーションの第一歩」があります。本校では重点目標として「互いの良さや努力を認め合い、思いやり、つながる児童の育成」を掲げています。あいさつをすることで自分の心の扉を開き、相手を認めることで相手からの印象が良くなって良好な友達関係を築くという重要な効果があいさつには秘められています。この目標達成にあいさつが大きな役割を担ってくれることは間違いありません。今年度はこれまで行っていた児童会主催の朝のあいさつ運動はできなくなりましたが、14日(水)の児童集会では児童会執行部から「あいさつピンゴ」の説明がありました。言われてするのはなく、自ら考えて行動することで主体的なあいさつ運動になります。あいさつ運動を通して、主体的に取り組む良さを楽しさ、そしてその手応えを得てほしいと思います。



なかよしタイムで楽しく交流しています…

毎週火曜日の昼休み後の30分間は、色別たてわりで活動する時間です。色別の行事に向けての計画や準備、ふり返しなどをする時もあれば、色別対抗で競技を行ったり、それぞれの色がさらに3班ずつに分かれてレクリエーションを楽しんだりしています。6年生がリーダーとなって、すべての学年がいっしょに活動する姿は、見ていてほのぼのの、とても温かい気持ちになります。子どもたちにとってのとても大切な時間となっているようです。



竹森さんについて再度書かせていただきます

学校だよりの第10号では「ここ数年お世話になっている」と書きましたが、実は30数年間にわたってボランティアでお世話になっていることを伺ってとても驚きました。月2回の割合で、主に職員玄関に潤いを与えていただいています。私自身は自分や家族のこと以外で30年間続けていることはありません。人に喜んでもらうことを自分の幸せにできる人になりたいと思います。本当にありがとうございます。



校内持久走大会に向けて

10/28(水)には校内持久走大会を予定しています。昨年度までの海沿いのコースはゆるやかな直線で、潮風を受けて気持ちよく走ることのできる素晴らしいコースですが、車両片側通行のために交通安全上の不安がありました。今年度は、思い切って若狭総合公園内を走るコースに変更をしました。芝生広場と温水プールの外側を走り、少し高低差があって、低学年800m、中学年1300m、そして高学年が2000mの新しいコースです。

この持久走大会に向けて、子どもたちは体育の時間を始め、朝運動や業間にも練習を重ねています。あまり大きな声で応援することはできませんが、友だちに声をかけている様子が見られます。

昨年に続いて書きますが、持久走大会の季節になると、東京五輪で8位、メキシコ五輪で銀メダルを獲得したマラソン選手、君原健二さんの「あの電柱までがんばろう!」という言葉思い出します。つらくなると目標を身近なところにおいて、それを繰り返すという練習法は大いに参考になりそうです。



10/24(土)の資源回収にご協力ください!

後期の資源回収を10/24(土)に実施させていただきます。前期に続いて今回も保護者の皆さんと教職員で作業を進めたいと思います。学校の学習環境や生活環境を整える上で欠かせないので資源回収に、ご協力をお願いします。

